

公表: 令和5年4月3日

事業所名 放課後等デイサービス たんぽぽルー

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		環境設定(個々の過ごしやすい空間づくり)	お子さんが、放課後に通所してホッとできる環境設定の工夫を行います。
	② 職員の配置数は適切であるか	○		一対一で対応したい時や緊急時や安全面から必要な際は、他職員から応援をもらって対応しています。	お子さんが安心して過ごせるように、施設内で連携してサポート体制をとります。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		業務改善に向けて、検討できていると感じます。	職員が参加し、今日認識の元、業務を行えるように努めていきます。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		日頃の保護者の方とのやり取りから、ニーズ把握に努めています。	保護者等からのアンケートを受け、意向等の把握、今後の改善につなげていきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今後も、自己評価結果を報告、公表し、改善に努めていきます。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在、第三者による外部評価は受けておりません。評価基準に従い、自己評価を行い、改善につなげるように努めています。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		職員間での意識継続。外部研修受講もを行い、自己研鑽に努めていきます。	職員の資質向上への意識は高いです。意識継続のため、内部研修、外部研修の受講を行い、自己研鑽に努めていきます。
⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		個々の状況によって活動内容計画を行っています。	お子さんの状況把握、本人・家族のニーズを把握しながら、活動計画を行います。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		変更が必要な時、職員共有をするための会議を行っています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		その日の終礼時に共有を行っています。	終礼内容に、お子さんの状況、ヒヤリハット報告等を位置づけ、職員共有できるように努めています。継続します。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
	関係機関や保護者との連携関係機関や保護	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
㉑		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
㉒		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		てんかん発作の可能性がある方等については、主治医への相談のうえで、個々のマニュアルを作成し、それに沿って対応するようにしています。	マニュアルの見直しについては、随時行っていきます。保護者・関係機関と連携を取ります。
㉓		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達からの引継ぎを行い、努めています。	お子さんが安心して過ごせるように、情報共有に努めています。継続していきます。
㉔		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		次のステージにつながるよう、情報提供の準備を行い、努めています。	情報提供できるように継続していきます。
㉕		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			

者との連携	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	コロナの影響もあり、社会資源を使っている活動ができていないため、検討し計画していきたいです。	社会資源を活用し、経験を積むことができるように活動を計画していきます。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してのサポートを行っているか	○			
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		必要に応じて、担当相談員とも連携しています。	保護者、その他関係機関と連携しながら、家族サポート・本人支援等考えていきます。
	③2	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	放課後デイとして、保護者同士の集まる場所づくりはできていません。	今後、本人、ご家族意向を把握しながら検討していきます。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			
	③6	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在、施設見学は随時受け付けて行っています。	施設全体で、地域に開かれた運営について考え、実行していきます。
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的なセルフチェック、毎月の全体の振り返り、研修を計画実施しています。継続します。	

非常時等の対応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			やむを得ない身体拘束の必要性については、施設全体、法人での検討を重ね、検討します。また、必要性がある場合は、必ずご本人又はご家族に説明、了承を得たうえで行います。また、計画書の記載、記録を必ず行います。職員の研修を定期的に行います。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日の終礼時に、ヒヤリハット報告を位置づけ、共有、分析を行い、同じようなヒヤリハット、大きな事故につながらないように努めています。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。